１０　家庭

学校番号	T2101

平成３１年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２	年次	１～４
使用教科書	子どもの発達と保育　育つ・育てる・育ち合う　（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術について学習します。
〇様々な実習（沐浴実習、離乳食実習、保育園での保育実習）を通して、子どもの保育や関わり方について、体験的に学習します。
〇保育者の立場に立って、子どもの発達や子育て支援について、みんなで考えましょう。

２　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。	子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。	子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、保育実習製作品 定期考査　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	子どもの発達過程	○身体発達と運動機能の発達 ・妊娠～出産(映像とともに) ・妊娠が成立するまで ・人が生まれるまでの発育 ・胎児期の発達 ＊妊娠・出産の体験談を聞こう(女性の経験、男性の経験)	○			○	a:子どもの発達過程ついて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達過程や出産・子育ての経験を聞き、保育者の立場に立って考え、表現しようとしている。 c:事例研究などを通して、子どもの発達と保育者の立場について検討する技術を身に付けている。 d:子どもの発達の課題について理解し、自分の経験と照らし合わせながら、保育者の立場で捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習 定期考査
		○乳幼児期のからだの発育 ・乳幼児期のからだの発育 ・乳幼児期の生理的特徴	○	○		○		
		○具体的な養護について ＊だっこ、沐浴、オムツ換えの実習	○		○	○		
		○乳幼児期の発達の特徴 ・発達の順序と方向性 ・発達の個人差 ・反射運動 ・運動機能の発達	○			○		
		○人間関係・心の発達 ・愛着関係の形成 ・仲間関係とあそび ・コミュニケーションの発達 ・もののとらえ方の発達	○	○	○	○		

5月	子どもの生活	○子どもの生活習慣 ・子どもの生活リズム ○子どもの食生活 ・母乳とミルクの利点 ・離乳食 ＊あかちゃんの泣き声から想像しよう ＊ミルクの作り方・消毒・飲ませ方 ＊調理実習　おとなごはんと離乳食を一度に作ろう ○子どもの衣服 ・子どもの遊びと衣服 ・子どもの体温と衣服 ＊紙おむつと布おむつの比較検討 ○住まいと子ども ・子どもの家庭内事故 ・誤飲と応急処置	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a:子どもの生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:子どもの生活に必要な技術を身に付けている。 d:子どもの生活について必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習 定期考査
6月	子どもの遊びと生活	○子どもの遊び ・遊びで身につく能力 ・遊びの種類 ・児童文化財 ・時代による遊びの変化 ＊ゲームと子どもについて考える ＊携帯・スマホと子どもについて考える ＊やってみよう想像＆創造遊び(新聞紙であそぼう) ＊遊びの魅力を体験しよう(ギネス記録紙飛行機を作る) ＊伝承遊び(お手玉をつくろう)	○	○	○	○	a:子どもの遊びに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの遊びに課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:子どもの遊びについて、ワークショップや体験実習通して、考える技術を身に付けている。 d:子どもの遊びについての基本的な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 実習 定期考査

7月	子どもの保育	○保育体験をしよう ・保育とは ・子どもと関わる時のポイント ・保育実習の計画 ＊壁面構成（カレンダーを作ろう） ＊子どもへの声かけどうする？（子どもに注意したり、叱ったりするときのいろいろなケースについて、話し合う） ＊地域の保育園での保育実習 ＊保育園へオリジナル便箋でお礼状を書こう	○	○	○	○	a：子どもの保育について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b： 子どもの保育について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：子どもとの関わり方について、体験的に身に付けている。 D：子どもの保育について、主体的に考えるために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習 定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。